

研究実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	当院における小児心臓カテーテル検査後の安全性調査
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 看護部 福岡 正美
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2018 年 3 月 31 日
対象者	平成25年度及び平成28年度に当院4階東病棟において、心臓カテーテル検査を受けた0～6歳でおむつ使用している小児患者さん
当該研究の意義・目的	全国の心臓カテーテル検査の年間件数は9,942件であり、本院での平成28年度実績は小児160件でした。2012年日本小児循環器学会学術集会で発表された心臓カテーテル検査を受ける子どもと家族に関する国内看護文献レビューにおいても、各施設がそれぞれの方法でプレパレーションや固定方法を工夫するなどして子どもと家族の苦痛軽減への取り組みを行っている事が明らかとなっています。当小児科病棟でも心臓カテーテル検査前後の看護を行っており、医師が選択推奨された圧迫固定帯を使用して検査後の観察をしています。その圧迫固定帯を使用して10年以上となりますが、これまで圧迫固定帯の安全調査を評価したことがなかったため、その圧迫固定帯の安全性を明らかにし、今後の看護実践への示唆を得たいと考えています。
方法および研究で利用する試料・情報について	この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。電子カルテから上記期間中に得られた情報を収集し、全国データとの比較検討を行い、当院での圧迫固定帯の安全性を考察します。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 ＜調査項目＞ 年齢・性別・疾患・体重・カテーテルの種類・鎮静剤使用の合併症・それぞれの症例の検査後の出血・固定帯の尿汚染
外部への資料・情報の提供	外部への資料・情報提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 看護部 福岡 正美 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 （内線4430）

作成日： 2018 年 1 月 11 日